

# 井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

## 読者の伝言板

敬称略



秋田にもツキノワグマがいるとは知りませんでした。北海道にしかないというイメージ。身近にも出没するようで、気をつけなさいといけませんね(藤修功 32歳・八橋)

広報あきたの「秋のまんたらめもりー」を見て、昨年の鮮やかな紅葉を思い出しました。とても良いところでした(福田順子 50歳・八橋)

公園を散策していたら、梨の花が満開に咲いていました。買い物に行く途中には、こぶしの花のつぼみがふくらんでいました。台風のための塩害とかで葉っぱが枯れ落ちてしまい、暖かい陽気のため春と間違っただけを咲かせようとしているようです。来春はどうなるのかと心配しています(赤津テイ 70歳・泉)

猛暑にも負けず、鉢植えのトランペット(花の種類)が二度も花を咲かせ喜んでいました。台風の塩害ですっかり葉も落ち、もうダメかと思っていた矢先、新芽が出始め、三度目の花がみごとに咲きま

した。生命力の強さに神秘的なものさえ感じました(相庭けい 75歳・牛島)

先日、太平山リゾート公園のグラウンドゴルフ場で、主人とプレーしてきました。景色は最高、空気もおいしく、全コースまわって気持ちよい汗をかきました(ペンネーム キータン 51歳・広面)

スポーツの秋、先日主人が田沢湖マラソンの二十キロの部に出場しました。初めての参加で、距離も長いので、完走できるか心配だったのですが、どうにか走りとおし、完走記念と参加賞をおみやげに無事帰ってきました。長い上り坂などがあり、かなりきつかったようですが、達成感は格別だったようで、私までうれしくなりました(ペンネーム コスモス 50歳・下新城) 毎日暗いニュースばかりで、心も寂しくなります。オリンピックがもう一度あったら、日本中にまた明るさがあるような気がします(小野千恵 62歳・新屋)

## 地域のお話 おしえて!!

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりのニュースがありましたら、広報課までお知らせください。  
tel(866)2034 FAX(866)2287

### 大森山動物園・塩曳瀧の水辺生物を調査 昔から姿を変えない聖域

大森山にある「塩曳瀧」は、動物園ができるずっと以前から農業用のため池として使われてきました。最深6m、周囲にたくさんの木々が生い茂り、昔の姿がそのまま残る貴重な沼です。

10月9日、大森山動物園と浜田小学校の4・5・6年生13人が、この沼の生物を調査しました。

地引き網、もんどり、びんどうを使って沼の生物を捕獲すると、アカヒレタビラ、トウヨシノボリ、

ワカサギなどの魚やムカエビ、二枚貝のドブガイなどを発見。また、絶滅の危険にさらされているシナイモツゴ、ゼニタナゴなどの貴重な魚も見つかりました。

調査を指導した秋田淡水魚研究会の杉山秀樹さんは「埋め立てや、ブラックバスなどの放流で、ほかの沼がどんどん姿を変えていく中、長い間生き続けてきた魚たちが残る貴重な沼。今日のことをずっと忘れずに、地元で素晴らしい沼と

生物があることを誇りに思ってほしい」と子どもたちに話しました。



1匹1匹大きさを計って、沼へ返します



# おしゃべりかわらばん



ブラジルの格闘技「カポエイラ」の演武。  
あきた国際フェスティバルではさまざまな国のパフォーマンスが披露されました。



あきた国際フェスティバルに参加した佐藤ピエダさん(コロンビア出身)

## ラテンのリズムでダンス!

今日は、南米のペルー、パラグアイ、コロンビア、メキシコの民族舞踊を披露しました。音楽が流れると自然に体が動きます。日本に来て5年、秋田のみなさんとこれからもっと交流を深めたいですね。



ライブドアと楽天の社長さんが来秋してこまちスタジアムを視察。私が物心ついたころは、甲子園の予選は櫛山グラウンドでした。それから茨城県、八橋球場を経て、今のこまちスタジアムと移り変わってきました(玉尾勇 79歳・千秋)

## サクサク稲刈り

春に植えて順調に育った稲を刈りました。田植えは転んで泥だらけになったけど、今日はサクサク稲を刈ることができて楽しかった。刈るときのコツは、鎌を強く引くこと。収穫したお米のご飯、早く食べたいな。



農業体験で稲刈りをした内田健斗さん(中通小学校5年)

## 係からひとこと

「一期一会」。人と人との出会いの大切さを表現する言葉です。私は月に三本、広報テレビ番組を作っています。私の番組は市民が主役。毎回、多くのかたがたに出演・登場していただいています。番組を作るために取材に出かけますが、番組制作に携わってから三年半でおよそ五百人と出会いました。育児、環境、福祉、教育、市民活動などさまざまな分野で一生懸命に頑張る人たちの熱い心は、私の心も熱くしてくれました。これが私の番組づくりのエネルギーです。



よちよち広場に参加した鎌田良美さん・流羽(るう)ちゃん(8か月)(手形)

## みんなでワイワイ楽しいね

子ども未来センターのよちよち広場には2回目の参加です。赤ちゃんがいるお母さんが一緒に集まるので私も楽しいし、この子も歌や手遊びに反応して、とてもうれしそう! 次回の広場が待ち遠しいです。

## 貴重な魚を発見!

沼には絶滅危ぐ種もいて、びっくりしました。なにげなくこの沼の前を通っているけど、調べてみたらすごい沼なんだとわかりました。ブラックバスとかの放流をしないで、沼をずっと大切にしていきたいです。



大森山塩曳潟の水辺生物調査に参加した小野哲也さん(浜田小学校5年)

## 広報クイズ



よちよち広場

## 9月24日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「果物(品名でも可)」、問2が「ツキノワグマ」でした。

全問正解136通(応募総数147通)の中から、小野千恵さん(新屋松美町)、佐藤サトさん(外旭川字家ノ前)、猿田美樹さん(泉釜ノ町)、渋谷由紀子さん(下新城中野字街道端西)、嶋田智勇さん(牛島東一丁目)、進藤成年さん(牛島東七丁目)、進藤有子さん(将軍野堰越)、関谷英夫さん(将軍野東三丁目)、寺嶋敏雄さん(新屋元町)、中田哲夫さん(土崎港中央七丁目)の10人のかたに図書カードをお送りします。

10月の広報クイズは最終面です。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)

## 物を売るって難しい...



「久保田城下まつりジョヤサ」で販売体験をした菅原愛美さん(秋田商3年)

コーヒーとお菓子の販売に挑戦しました。すぐ売れそうに思ったけれど、簡単には売れなくて...。自分から積極的に声をかけて、お客さんにオススメ品をPRしました。商売の大変さを実感した2日間でした。